



# 河昌通信

平成 26 年 8 月  
第 44 号

株式会社河昌 電話：078-733-0791 FAX：078-734-0567  
〒654-0045 神戸市須磨区松風町5-1-22

8月19日(火)に「第1回ともさかセミナー」を開催します。値引きしないで「お客様がお客様を連れてくる」集客に成功した垂水の「くやすけ」さんの事例を紹介します。詳細は河昌にお問い合わせ下さい。

## 1. 藤井昌治の自己紹介

昭和 30 年に大阪の河内市(今の東大阪市)で生まれ、58 歳になります。生家には五右衛門風呂があり、村の周りの田んぼの畦道を走って遊びまわっておりました。生まれた時から体が大きかったようで、中学生になるとクラブ活動でバレーボール部に勧誘され、高校・大学時代はクラブ活動・サラリーマンになっても草バレーをしていました。アタック No.1 の真似をしていました。

職歴のスタートは電機メーカーです。営業・販売促進などの仕事をへて、30 歳の時、結婚をきっかけに父の興した河昌に転職しました。右も左もわからないうちに数種類のサンプルを用意してもらい、中央区・灘区辺りのすし屋さんを探し歩いて飛び込み営業しました。30 年近く前のことですが、初めて「買ったる」と言ってくれた時の感激は忘れられません。

## 2. 会社紹介

(株)河昌と書いて、「かわしょう」と読みます。父が昭和 46 年に母と一緒に神戸の須磨で創業しました。それまで勤めていた会社の「河」の字に、父は自分の名前の「昭」をつけて、「河昭」(かわしょう)としようとしたのですが、字画が悪いといわれ、読みはそのまま息子(私)の名前の「昌」をとって「河昌」(かわしょう)としました。どうりでなんとなく後ろ髪をひかれるような気がして、結婚を機にサラリーマンをやめて「河昌」に戻ってきました。

創業当時は、すし屋さんも忙しく、得意先もどんどん紹介していただいて、「いい海苔」を手当てすれば売れた時代だったようです。が最近、随分事情は変わりました。物があふれ、業種の垣根を越えた競争が広がり、すし屋さんにとって厳しい時代となりました。

そんな中にあっても、河昌は常にすし屋さん専門の「海苔の専門店」であり続けたいと思っています。仕入れは良い海苔を全国から集め、「海苔のことならなんでもお任せ下さい。」の体制を維持しております。

## 3. ともさか海苔屋(ミッション)

私には忘れられない家族旅行の思い出があります。私が中学・妹が小学校卒業の春休み、家族 4 人で南九州旅行に 1 週間くらい連れて行ってもらいました。こんなに長い家族旅行は最初で最後だったので印象に残っています。そして翌年、両親は神戸・須磨で「河昌海苔店」を開業しました。以来、働き詰めの両親で、今日まで来ました。その父から、「開業当初、得意先の皆さんに可愛がっていただき、いろいろお店を紹介してもらって得意先を増やし今がある、このことは忘れるな。」と事あるごとに聞かされました。

私は父からバトンを受けて十数年になります。今、お得意様である個人のすしさんが大変厳しい状況にあります。「河昌の役割は何か？」を考えていたとき、あるお客様から、息子さんとの関係改善の相談を受けました。「これだ」と思いました。一緒になって(ともに)お店の将来を考えましょうという、「ともさか海苔屋」です。

後継者の問題・お客様作りの問題など、今まで学んだことを活かして、すしさんと一緒にお店の将来を考え、そして元気にともに栄える「ともさか」です。

「ノリノリ HAPPY! 笑顔のともさか海苔屋 河昌」はこだわり寿司屋さんに元気と笑顔をお届けします。

最後までお読みいただきありがとうございました。

笑顔のともさか海苔屋 河昌 藤井昌治

## 【発行者プロフィール】

株式会社河昌 代表取締役  
藤井 昌治 (ふじい まさはる)  
生年月日: 1955 年 12 月 16 日生まれ  
出身地: 大阪府東大阪市  
趣味: 夫婦で映画、ひとりで読書

経歴: 大阪市立大学→シャープ→河昌  
打ち込んできたもの: バレーボール  
家族構成: 妻潤子、長女望、長男智大、  
父昭、母佳子  
モットー: 毎日が日曜日

